

りました。Agematsu では、分解することができず、予想にとどまっていた原始星のまわりの散乱輻射場を UKIRT で、はっきりと捉えることができました。GGD 27/28 IRS, W75N IRS, GL 2591 そして T-Tauri のまわりに、軸対称で同心円になった大きな(所によっては 50% を越える)赤外偏光を発見しました。星の生成の初期に、原始星の放射はまわりの固体微粒子によって、散乱され、“Infrared Reflection Nebula”として見えるのでしょ。

偏光度の異常な大きさからおそらく空洞か壁のような、塵の空間分布を考えなければ説明しにくいと考えています。そしてこの構造は、分子の双極流 (bipolar outflow) と関係があるのだらうと考えています。

iii) 暗黒星雲の中の“水”の探索:

“水”は、原始星の領域には、たくさん (~20 個) 見つかっています。暗黒星雲でもおうし座暗黒星雲の中に見つかっています。私たちはへびつかい座暗黒星雲の中にも 3 方向に“水”の吸収をみつけました。最近 ESO ではへび座に見つけています。“水”は暗黒星雲や分子雲の進化の中で、いつ出来て、いつ消えるのかを調べるのが目標です。いくつかの暗黒星雲について“水”の有無を観測し“水”の存在条件を調べてゆくつもりです。

また近赤外域 spectropolarimetry と電波分光を平行し



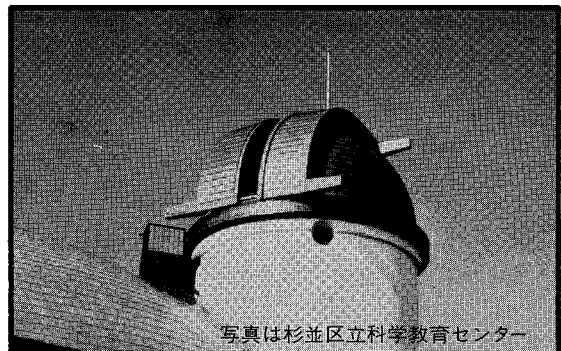
て、行ない、固体微粒子の、サイズ、形状を求め、分子から微粒子への相変化、微粒子の成長を調べたいと考えています。

i), ii), iii), いづれも、この 10 年間、あたためてきたテーマを今、ハワイに来てやっています。結果はほぼ予想していたとおりの展開になりつつあります。私たちが木曾の山中で思いめぐらしていたことは、まちがってはいなかったようです。

お知らせ

広島大学理論物理学研究所助教授公募

1. 職名及び公募人員 助教授 1名
2. 専門分野 重力理論研究部門 (広い意味での重力理論)
3. 着任時期 昭和 61 年 4 月 1 日以前のなるべく早い時期
4. 任期 一応 10 年をめぐとする
5. 提出書類 (1) 履歴書
(2) 研究歴
(3) 発表論文リスト
(4) 代表的論文 3 編の別刷各 1 部
(5) 着任した場合の研究計画
(6) 当方より意見を聞ける方 2 名の所属・職・氏名・連絡先 (推薦書不要)
6. 公募締切 昭和 61 年 1 月 6 日 (月) 必着
7. 宛先 〒725 広島県竹原市竹原町 1294
広島大学理論物理学研究所長 横山寛一
電話 08462-2-2362
8. 送付方法 封筒に「応募書類在中」と明記し、書留で郵送のこと
9. その他 適任者がいない場合には、決定を保留することがある。



写真は杉並区立科学教育センター

★営業 ASIBO 品目★ 天体望遠鏡と双眼鏡 ドームの設計と施工

▶主なドーム納入先◀

東京大学宇宙航空研究所/東京大学教養学部/東京学芸大学/埼玉大学/福島大学/川崎市青少年科学館/杉並区立科学教育センター/駿台学園高校(北軽井沢)/船橋市立高校/高知学園/土佐市公民館/刈谷市中央児童館等の他、日本全国に100余基の実績。

ASTB 光学工業株式会社

東京都豊島区池袋本町2-38-15 ☎03(985)1321